



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 マルヨシセンター

コード番号 7515 URL <http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐竹 文彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 吉田 博三

TEL 087(874)5511

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	30,829	△5.5	323	△39.5	162	△45.1	71	△54.2
22年2月期第3四半期	32,627	△5.3	534	16.9	295	57.8	155	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	8.51	—
22年2月期第3四半期	18.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	21,846	2,637	12.1	316.31
22年2月期	21,024	2,596	12.3	311.30

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 2,637百万円 22年2月期 2,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	3.00	3.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,800	△4.6	635	△5.9	313	△19.1	143	△14.6	17.14

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期3Q	8,749,990株	22年2月期	8,749,990株
② 期末自己株式数	23年2月期3Q	411,642株	22年2月期	409,303株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年2月期3Q	8,339,131株	22年2月期3Q	8,385,436株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
【第3四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国市場の需要拡大による企業収益の持ち直しや、政府の経済対策も一定の効果はあったものの、雇用や所得環境は依然と厳しく、個人消費は低調に推移いたしました。

スーパーマーケット業界におきましても、顧客の節約志向が強く一点単価の低下傾向が続くなか、この夏の猛暑による盛夏商品の販売の好調、たばこの値上がり前の駆け込みなどスポット的需要はあったものの、業種・業態を超えた競争はさらに激しくなっており、従来に引き続き厳しい状況下にあります。

このような情勢のもと、当社グループは顧客の消費動向の変化に対応すべく、顧客の低価格志向への対応だけでなく、健康とおいしさや品質志向の基本政策のもとに季節の旬の商品や当社プライベートブランドをはじめ独自企画商品の拡充や強化を行い、顧客にとってわかりやすい販売形態や訴求方法に工夫をまいりました。一方、費用面では、提案改善制度による業務改善、パート社員の戦力化による人時効率の向上、電気使用料の平準化や低減による光熱費削減等を行ってまいりました。

また、外食事業の和食店「円居」2店舗（高松市、徳島市）を10月末から11月にかけて閉店いたしました。

このような取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、304億26百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は3億23百万円（前年同期比39.5%減）、経常利益は1億62百万円（前年同期比45.1%減）、四半期純利益は71百万円（前年同期比54.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、現金及び預金が6億46百万円、商品が2億37百万円増加したことなどにより、前期末に比べ11億8百万円増加し、45億73百万円となりました。

有形固定資産は、前期末に比べ1億81百万円減少し、144億93百万円、無形固定資産は前期末に比べ、6百万円減少し、4億76百万円となりました。その主な内訳は、国分寺店改装による新規取得による増加と減価償却による減少であります。

投資その他の資産は、繰延税金資産が5千万円、差入保証金が21百万円減少したことなどにより、前期末に比べ98百万円減少の23億2百万円となりました。

（負債）

負債は、前期末に比べ7億8千万円増加し、192億8百万円となりました。その主な内訳は、買掛金が4億93百万円減少した一方、長短期を合わせた借入金が10億9千万円増加したことなどによるものであります。

（純資産）

純資産は、前期末に比べ41百万円増加し、26億37百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が45百万円増加した一方、評価・換算差額等が4百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により2億33百万円、投資活動により6億24百万円減少いたしましたが、財務活動により10億51百万円増加いたしました。この結果、現金及び現金同等物は1億93百万円増加し、11億69百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、2億33百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が1億43百万円、キャッシュ・アウトを伴わない減価償却費が5億35百万円であった一方、銀行の休業日の関係により、仕入債務が4億93百万円、未払金が96百万円減少したこと及びたな卸資産が2億39百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、6億24百万円となりました。その主な内訳は、定期預金の預入の純増額4億53百万円、有形固定資産の取得による支出2億54百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、10億51百万円となりました。その主な内訳は、前述の通り、長短期を合わせた借入金が10億9千万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成22年4月14日発表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,792,810	1,146,120
売掛金	75,443	62,493
商品	2,174,716	1,937,088
繰延税金資産	127,060	82,893
その他	403,869	236,605
流動資産合計	4,573,900	3,465,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,349,812	16,407,385
減価償却累計額	△9,925,461	△9,773,057
建物及び構築物(純額)	6,424,351	6,634,328
機械装置及び運搬具	1,689,866	1,669,099
減価償却累計額	△1,428,324	△1,406,369
機械装置及び運搬具(純額)	261,541	262,730
工具、器具及び備品	2,522,360	2,511,789
減価償却累計額	△2,096,010	△2,064,756
工具、器具及び備品(純額)	426,349	447,033
土地	7,290,029	7,290,029
リース資産	106,293	23,046
減価償却累計額	△15,531	△2,203
リース資産(純額)	90,761	20,842
建設仮勘定	—	19,391
有形固定資産合計	14,493,034	14,674,354
無形固定資産	476,620	483,519
投資その他の資産		
投資有価証券	636,639	587,764
繰延税金資産	514,623	565,124
差入保証金	982,445	1,004,351
その他	169,047	244,289
投資その他の資産合計	2,302,757	2,401,529
固定資産合計	17,272,411	17,559,404
資産合計	21,846,311	21,024,604

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,796,807	3,290,362
短期借入金	4,765,000	3,683,500
1年内返済予定の長期借入金	2,877,718	3,104,373
未払法人税等	69,784	38,736
賞与引当金	223,940	124,883
ポイント引当金	37,539	37,550
その他	886,017	969,336
流動負債合計	11,656,806	11,248,741
固定負債		
長期借入金	6,460,916	6,225,516
退職給付引当金	808,711	738,113
役員退職慰労引当金	152,375	146,100
その他	130,018	69,651
固定負債合計	7,552,021	7,179,380
負債合計	19,208,827	18,428,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	956,207	910,319
自己株式	△150,411	△149,708
株主資本合計	2,697,322	2,652,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△58,794	△55,655
繰延ヘッジ損益	△1,044	—
評価・換算差額等合計	△59,838	△55,655
純資産合計	2,637,484	2,596,482
負債純資産合計	21,846,311	21,024,604

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	32,214,982	30,426,655
売上原価	24,256,834	22,954,484
売上総利益	7,958,148	7,472,171
営業収入	412,879	403,236
営業総利益	8,371,027	7,875,407
販売費及び一般管理費		
販売促進費	630,654	632,536
消耗品費	211,089	230,706
運賃	249,100	245,094
賃借料	165,262	135,271
地代家賃	707,221	692,915
修繕維持費	324,733	299,603
給料手当及び賞与	3,161,685	3,075,410
福利厚生費	392,346	398,207
賞与引当金繰入額	212,947	198,015
退職給付費用	95,857	83,741
役員退職慰労引当金繰入額	7,247	7,075
水道光熱費	708,235	679,322
減価償却費	498,544	430,106
その他	471,159	443,823
販売費及び一般管理費合計	7,836,087	7,551,829
営業利益	534,940	323,578
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,492	5,428
持分法による投資利益	16,394	19,631
保険解約返戻金	—	28,946
補助金収入	—	27,700
その他	20,862	37,217
営業外収益合計	43,749	118,925
営業外費用		
支払利息	273,012	263,802
その他	10,227	16,513
営業外費用合計	283,240	280,315
経常利益	295,449	162,187
特別損失		
固定資産除却損	11,029	19,174
その他	123	—
特別損失合計	11,152	19,174
税金等調整前四半期純利益	284,297	143,013
法人税、住民税及び事業税	22,297	62,846
法人税等調整額	106,804	9,162
法人税等合計	129,102	72,008
四半期純利益	155,194	71,004

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	10,287,979	10,020,175
売上原価	7,713,158	7,565,878
売上総利益	2,574,820	2,454,297
営業収入	137,283	133,699
営業総利益	2,712,104	2,587,996
販売費及び一般管理費		
販売促進費	210,630	209,181
消耗品費	69,916	62,436
運賃	78,530	79,284
賃借料	53,692	42,124
地代家賃	231,356	230,359
修繕維持費	101,981	99,075
給料手当及び賞与	1,001,853	994,800
福利厚生費	127,717	135,575
賞与引当金繰入額	98,361	95,454
退職給付費用	29,537	27,730
役員退職慰労引当金繰入額	2,395	2,325
水道光熱費	225,464	228,406
減価償却費	166,917	143,449
その他	157,747	143,930
販売費及び一般管理費合計	2,556,101	2,494,134
営業利益	156,002	93,862
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,670	1,459
持分法による投資利益	3,958	4,238
受取保険金	4,394	—
保険解約返戻金	—	22,728
その他	3,789	4,187
営業外収益合計	13,812	32,614
営業外費用		
支払利息	89,299	86,486
その他	3,424	10,262
営業外費用合計	92,724	96,749
経常利益	77,091	29,727
特別損失		
固定資産除却損	3,648	1,740
特別損失合計	3,648	1,740
税金等調整前四半期純利益	73,442	27,987
法人税、住民税及び事業税	7,437	39,309
法人税等調整額	29,422	△22,250
法人税等合計	36,859	17,058
四半期純利益	36,583	10,928

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	284,297	143,013
減価償却費	538,132	535,899
有形固定資産除却損	3,744	10,538
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,205	1,395
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,373	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,391	70,597
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,467	6,275
受取利息及び受取配当金	△6,492	△5,428
支払利息	273,012	263,802
売上債権の増減額(△は増加)	△10,993	△12,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△112,719	△239,262
仕入債務の増減額(△は減少)	△676,025	△493,554
未払金の増減額(△は減少)	△174,934	△96,758
前受金の増減額(△は減少)	5,509	46,551
未払消費税等の増減額(△は減少)	△67,384	△62,844
その他	110,994	△89,836
小計	215,578	77,435
利息及び配当金の受取額	7,199	5,401
利息の支払額	△301,968	△291,579
法人税等の支払額	△16,443	△24,760
営業活動によるキャッシュ・フロー	△95,634	△233,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△613,728	△623,000
定期預金の払戻による収入	523,000	170,000
有形固定資産の取得による支出	△121,063	△254,918
無形固定資産の取得による支出	△1,404	△7,588
差入保証金の差入による支出	△8,609	△3,014
差入保証金の回収による収入	29,632	24,920
投資有価証券の取得による支出	△6,299	△39,432
投資有価証券の売却及び償還による収入	413	4,320
保険積立金の解約による収入	—	106,987
その他	△17,239	△2,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215,298	△624,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,025,000	1,081,500
長期借入れによる収入	1,950,000	4,286,700
長期借入金の返済による支出	△2,485,355	△4,277,955
リース債務の返済による支出	△1,254	△13,822
配当金の支払額	△25,459	△24,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	462,931	1,051,436
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	151,998	193,689
現金及び現金同等物の期首残高	1,009,460	976,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,161,459	1,169,810

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。